

投資の基礎講座 「為替差益に対する税金」

CFP®認定者
日本FP協会群馬支部副支部長 大谷 明

為替相場が大きく動いていますが、外貨預金への関心が高まっています。外貨預金の場合には、「利息」の他に「為替差損益」に対する税金が発生します。為替相場が利息に対する課税は、円建て預金と同じですが、為替差益は、雑所得として総合課税の対象になります。

外貨預金の利息には、一律20%の源泉分離課税(所得税15%・住民税5%)が適用されます。為替差益が生じたときには、雑所得として、総合課税の対象である収入の一部になります。また、為替差損が生じたときには、雑所得から差し引くことができます。なお、外貨預金は、マル優の対象にはなりません。

雑所得とは、個人を対象とした所得のなかで、利子所得、配当所得、不動産所得、事業所得、給与所得、譲渡所得、一時所得、山林所得、退職所得にあてはまらない所得を、まとめて雑所得といいます。この雑所得は給与所得などと合算されて総合課税の対象となり、確定申告する必要がありますが、年収2,000万円以下の給与所得者で、給与以外の所得が20万円以下の場合は確定申告の必要はありません。また、為替差損などは課税額から控除できますが、それは雑所得の範囲に限られています。

なお、外貨MMFは外貨預金とは税金の扱いが異なり、為替差損益は非課税で、雑所得と通算することはできません。

先週の金融市場データ

週間高低表(終値ベース)	週初	高値	安値	週末終値
日経平均株価	12,042.70円	12,127.82円	11,800.40円	11,824.56円
TOPIX	1,206.57	1,217.87	1,194.67	1,196.18
東証1部単純平均	464.63円	471.89円	462.92円	465.26円
東証1部出来高	1,489,040千株	2,865,143千株	1,489,040千株	1,701,039千株
ニューヨークダウ平均	10,515.56ドル	10,515.56ドル	10,377.95ドル	10,451.97ドル
NASDAQ	2,065.48	2,065.48	1,995.74	1,995.74
10年国債利回り	1.525%	1.550%	1.480%	1.495%
債券先物中心限月	137.00円	137.51円	136.90円	137.51円
無担保コールO/N	0.001%	0.001%	-0.004%	0.001%
円TIBOR 1ヶ月	0.06000%	0.06000%	0.06000%	0.06000%
円TIBOR 3ヶ月	0.08000%	0.08000%	0.08000%	0.08000%
ドル/円相場	106.25円	108.53円	105.64円	108.37円
ユーロ/円相場	128.31円	129.93円	126.66円	129.93円
1ユーロ=ドル	1.2074ドル	1.2074ドル	1.1936ドル	1.1989ドル
米国FFレート	1.0000%	1.0625%	1.0000%	1.0000%
米国10年国債利回り	4.23%	4.40%	4.23%	4.34%

スーパー定期(ニュー定期)金利表

平成16年4月19日現在

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	2年
群馬銀行	0.02%	0.02%	0.02%	0.03%	0.04%
東和銀行	0.02%	0.02%	0.02%	0.04%	0.05%
高崎信用金庫	0.02%	0.02%	0.02%	0.03%	0.05%
郵便局	0.02%	0.02%	0.02%	0.03%	0.04%

公的年金の一元化

年金法案論戦スタートし、「年金制度一元化案」が国会審議の焦点に浮上しています。

公的年金は自営業者らが入る「国民年金」、会社員の「厚生年金」、公務員、私立学校の教職員の「共済年金」などが分立しています。各制度は保険料負担や年金水準が異なり、不公平との指摘があります。転職などで制度を移ると老後の年金が変わるうえ、国民年金に移る場合は移行手続きを忘れ未加入になる人も多く問題になっています。この格差を統合などで是正するのが「公的年金の一元化」です。制度を一元化し誰もが同じ制度に入ると、制度間の負担と給付の格差は解消することになります。

今週の株式相場見通し

先週の株式相場は、世界的な景気拡大や日本のデフレ脱却期待が、高まり、商いを上昇し日経平均、TOPIXとも年初来高値を更新しました。しかし、15日には高値警戒感から急落しました。

今週の株式相場は、下値を固める展開となりそうです。国内景気が回復してきていることから下落リスクは小さくなっているものの、先週の下落で高値警戒感がはっきりとし、上値が追いつけなくなりました。日経平均株価で11,000円程度まで下げる場面もありそうです。

先週上昇した薬品株のように好業績の出遅れ銘柄を物色する動きが続くものと思われます。

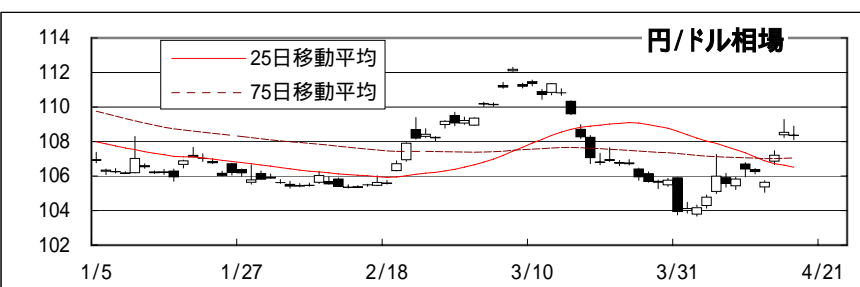
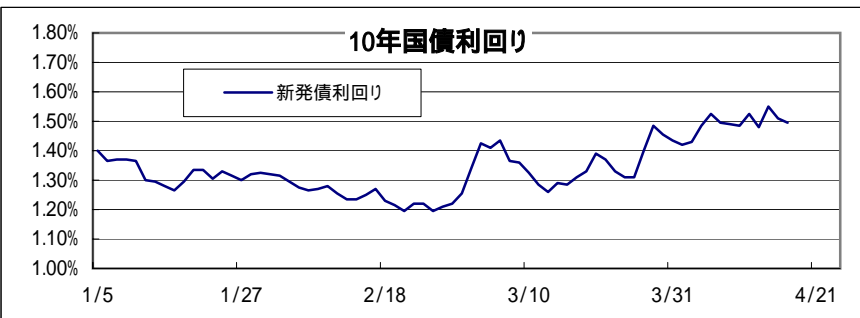
今週の債券・為替相場見通し

先週の債券相場は、株価の上昇や米国の早期利上げ観測などから下落、10年国債利回りは一時昨年9月10日以来の1.57%まで上昇しました。

今週の債券相場は、米国の早期利上げ観測が遠のいたことや株式相場の上値が重くなると思われることから小確りとした展開となりそうです。10年国債利回りで1.46%～1.53%程度での推移が予想されます。

先週の為替相場は、株高と米国の早期利上げ観測の間で大きく動きまわりました。今週の為替相場は、先週末の米掲載指標が予想を下回るものが相次いだことからドル買いが一服、1ドル=106円～108円の間での推移となりそうです。

CFP®, CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®およびサーティファイドファイナンシャルプランナー®は、CFP®ボードの登録商標で、ライセンス契約の下に日本FP協会が使用を認めています。



本資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。ここに記載されているデータは信頼できる各種情報源から入手したものです。その正確性や完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された見解や予測等は資料作成時点における個人的意見であり、ライフプラン21が保証するものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。